



エコアクション21  
2022年

# 環境経営レポート

活動期間：2022年10月～2023年9月

未来に、今より美しい水を・・・



千葉県 九十九里ビーチタワー

エコアクション21  
東昭化学株式会社 ・ 株式会社 カズサ

2023年12月27日

## 1 - 1. 東昭化学株式会社 組織の概要

### 1) 事業所名及び代表者名

事業所名 東昭化学株式会社  
代表者名 代表取締役 宮島昭夫  
所在地 〒101-0025  
東京都千代田区神田佐久間町2-7

### 2) 環境管理責任者及び連絡先

責任者 取締役営業部長 岡田好明  
連絡先 TEL 03-3863-0831 (代)

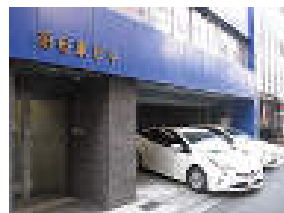
### 3) 事業活動内容

化学工業薬品、医薬品の販売  
劇物、毒物の販売  
食品添加物の販売  
医薬部外品の販売  
化粧品の販売  
高度管理医療機器等の販売業・賃貸業

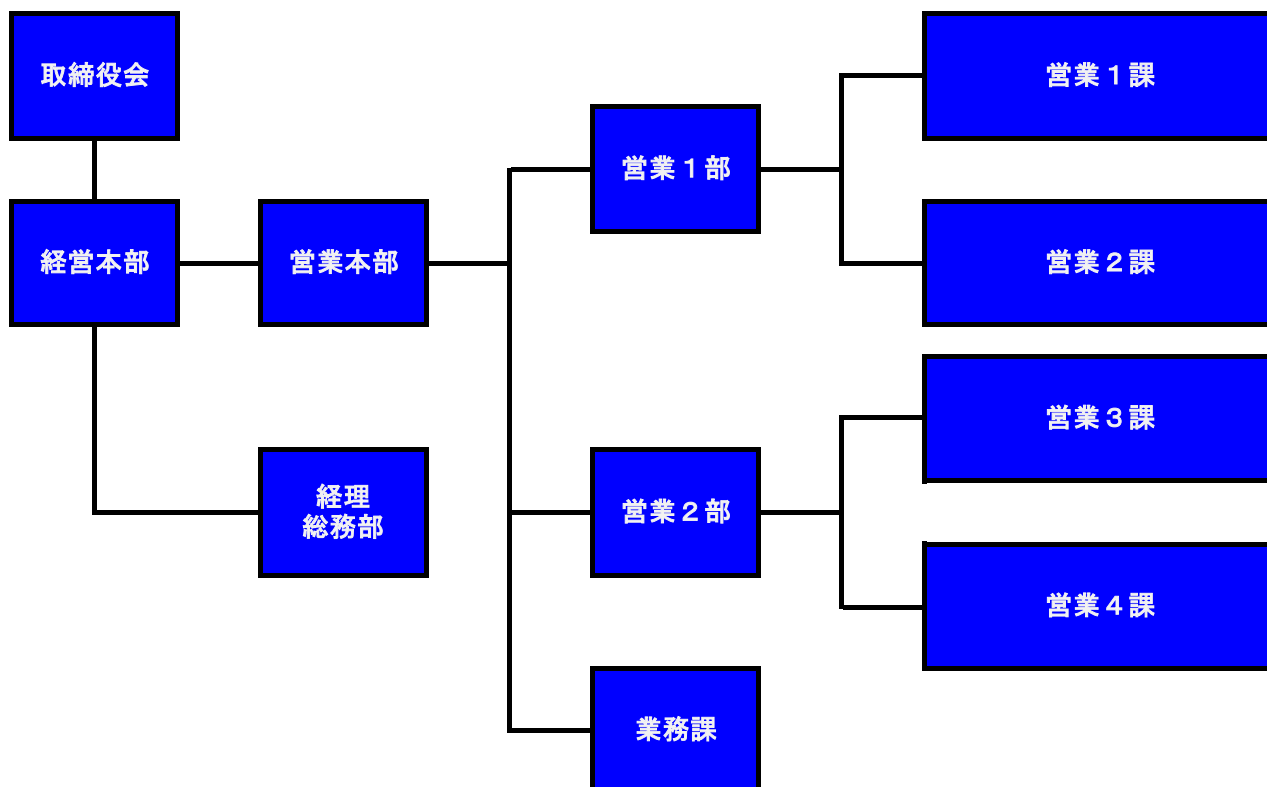
調理機器の販売業・賃貸業  
水処理設備の販売業・賃貸業  
物品の販売（日常生活品の販売）  
賃貸業  
清掃業  
前各号に附帯する一切の業務

### 4) 事業規模

資本金 2,418万円  
従業員数 29名  
対象床面積 280平方メートル



### 5) 東昭化学株式会社 組織系統図



## 1 - 2. 株式会社カズサ 組織の概要

### 1) 事業所名及び代表者名

事業所名	株式会社	カズサ
代表者名	代表取締役	川上康夫
所在地	本社・工場	〒299-4205 千葉県長生郡白子町南日当2424-6
	東京営業所	〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-7

### 2) 責任者及び連絡先

責任者	工場長	川上康夫（兼任）
連絡先	TEL	0475-33-6417（代）

### 3) 事業活動内容

化学工業薬品の製造及び販売  
食品添加物の製造及び販売  
医薬品の製造及び販売  
劇物、毒物の製造及び販売

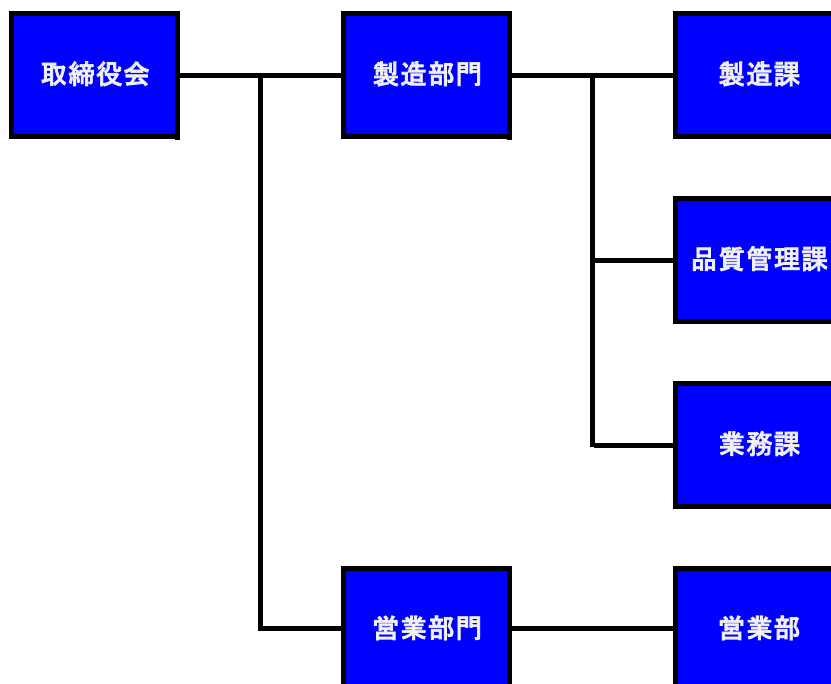
化粧品の製造及び販売  
医薬部外品の製造及び販売  
前各号に附帯する一切の事業

### 4) 事業規模

資本金	2,400万円
従業員数	11名
対象床面積	3,400平方メートル（敷地） 1,259平方メートル（工場・事務所） 438平方メートル（倉庫）

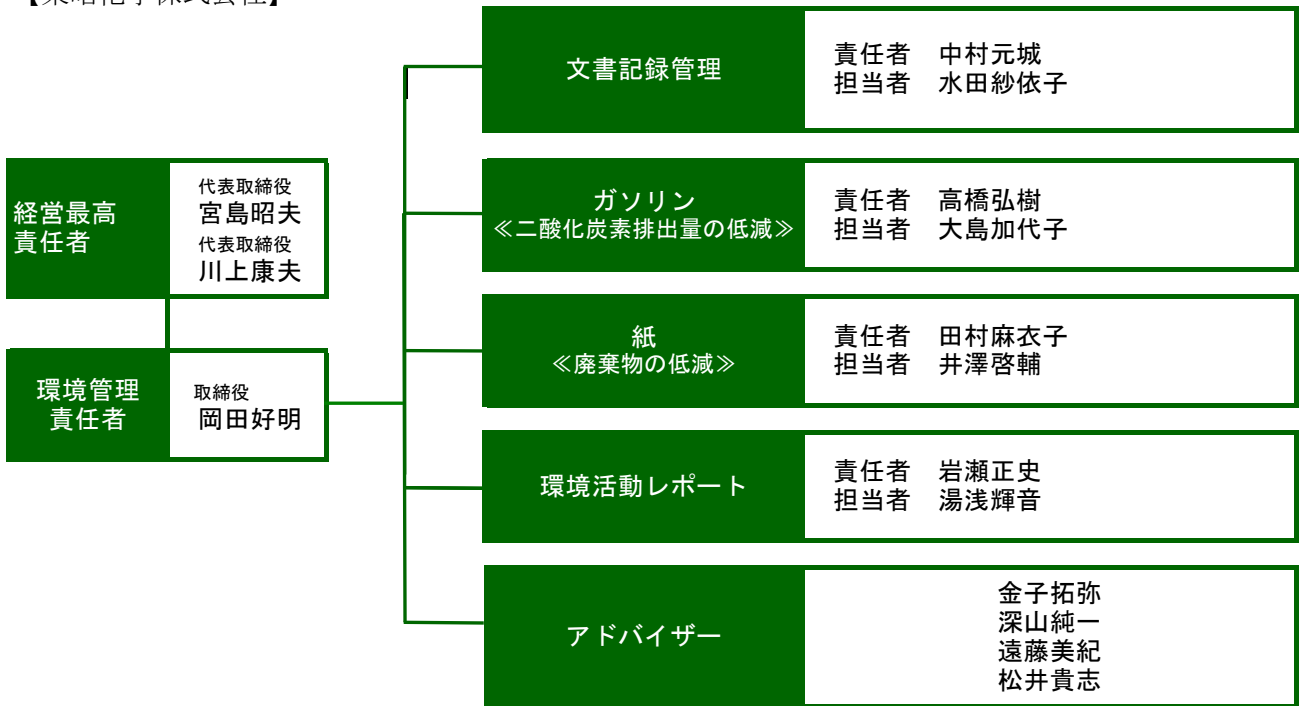


### 5) 株式会社 カズサ 組織系統図

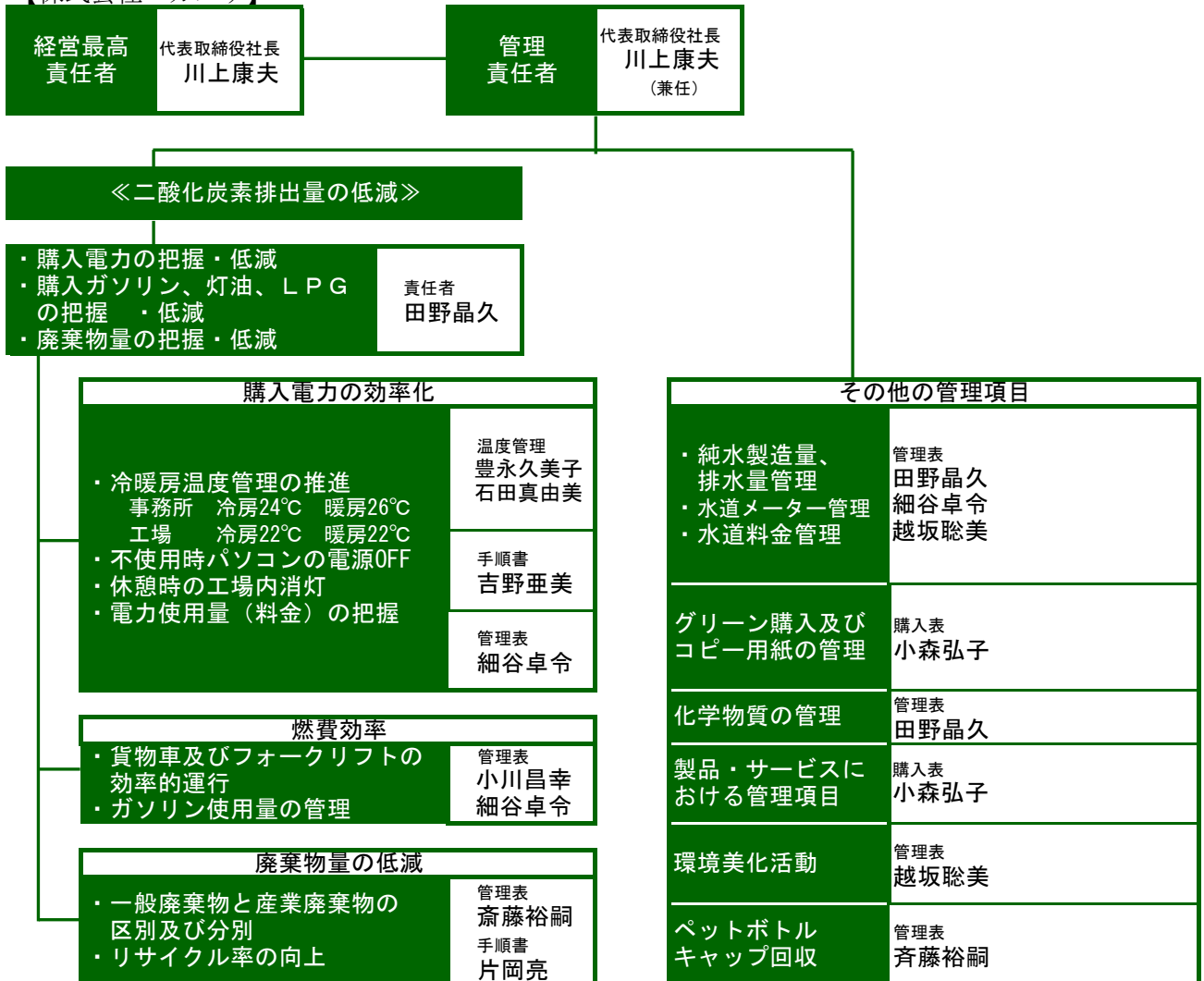


## 2. 実施体制

【東昭化学株式会社】



【株式会社 カズサ】



### 3. 環境経営方針

東昭化学株式会社及び株式会社カズサは、事業活動を通じ、地球環境の保全に最善を尽くすとともに、かかわりの深い「水」を大切にすることを常に考えながら次のことを実施していきます。

#### 1. 環境関連法規の遵守

環境関連の法規制・基準及びその他の同意する要求事項を遵守します。

#### 2. 省資源、省エネルギーの推進

限りある資源を保全するために、エネルギー消費量、廃棄物量の状況を把握しエネルギー消費の効率化を図り、廃棄物量の削減に努めます。

#### 3. 環境マネジメントシステムの確立

環境経営方針達成のために、環境経営目標及び活動計画を定め環境マネジメントシステムの構築・運用と継続的改善に努めます。

#### 4. 環境経営方針の周知と公表

環境経営方針を従業員全員に周知徹底するとともに、実施状況を環境経営レポートにまとめて公表します。

#### 5. 化学物質の適正管理

化学物質を適正管理し、法令を遵守します。

2020年 10月 1日（改定）

東昭化学株式会社  
代表取締役 宮島 昭夫

株式会社カズサ  
代表取締役 川上 康夫

---

#### 環境方針の履歴

2006年 9月15日（制定）  
2008年 9月14日（改定）  
2011年 9月15日（改定）  
2016年 3月 8日（改定）  
2018年10月 1日（改定）  
2020年10月 1日（改定）

## 4. 環境経営目標とその実績

### 1) 環境経営目標と実績

東昭化学(株)と(株)カズサはそれぞれ環境経営目標の項目を次のように掲げ2016年10月～2021年9月の実績値からそれぞれの目標値を定め2026年9月までに目標を達成するため、調査と活動計画を実施しています。  
\*6) 新5か年計画(2026年9月までの環境経営目標)参照

\*東昭化学は賃貸ビルに入居しているために、電気使用量、水使用量は把握できません。

東昭化学(株)	5か年計画 目標	2022年度 目標	2022年度 実績
二酸化炭素排出総量(KgCO <sub>2</sub> )	19,923	20,230	20,663
営業車燃費効率(Km/ℓ)	15.82	15.58	15.68
廃棄物量(kg)	930.10	959.50	1,375.30

#### ○ グリーン購入・化学物質の管理・製品サービス(E C O対応商品 41品目)

グリーン購入 : 事務用消耗品のエコ対応商品の購入推進

化学物質の管理 : S D S の整備、顧客への最新版の提供  
(SDSをサーバーで管理)

製品・サービス : 営業車の効率的な走行と距離の把握  
(走行距離 : 138,660<sup>キロ</sup>)

(株)カズサ	5か年計画 目標	2022年度 目標	2022年度 実績
購入電力の低減(kwh)	33,001	33,510	44,646
ガソリン購入量(ℓ)	2,223	2,258	2,626
廃棄物量(kg)	1,771	1,798	1,600
水使用量(m <sup>3</sup> )	1,241	1,260	997

※二酸化炭素排出係数に係る電力の排出係数に関しましては

「登録番号A0149 グローバルエンジニアリングの0.499 k g C O<sub>2</sub> / k w h」を使用しています。

#### ○ グリーン購入・化学物質の管理・製品サービス

化学物質の管理 : 化学物質の漏洩防止管理の徹底、化学物質の適正保管

製品・サービス : 製品の質の改良と向上、輸送品質の向上

製品の内容、包装資材を定期的に見直し、コストと両立した改善を推進する。  
配送クレームを発生させない輸送体制を協力輸送店と共に確立していく。

## ○ 2022年10月から2023年9月までの新たな取り組み

新5か年計画の2年目がスタートして、感染症対策も緩和する中で営業活動も活発となり特に夏の猛暑の影響で主力製品であるプール関連の消毒剤の生産、販売量も拡大しました。また、引き続き感染症対策を講じて、事業の継続を第一に行動しています。

東昭化学(株)では更なる業務効率化推進のためのプロジェクトチームを編成して、新システムの運用を拡充し、5月よりカズサとの受発注業務をクラウド化して作業効率を向上しペーパーレスの推進と、情報共有体制の構築が実現され、迅速な対応が可能となった。更に販売管理システムの一元化を目指し、2024年中にシステム全体の更新を完了させて新システムにより、効率化、ペーパーレス促進と帳票類のWEB発行によるサービス向上を目指します。

(株)カズサでは生産の復調と新規設備導入に伴い、電気使用量が増加していることから照明のLED化を促進し、約半数の更新が完了しました。また、事務所内の照明や電子機器類の未使用時の電源OFFを徹底しています。

製品の資材関係を多角的に見直し、コストダウンと品質の向上を模索した。

引き続き廃棄物量の低減については製品梱包用のラップ、PPバンドの再資源化のため分別を徹底して廃棄物量低減に努めました。

## 2) 主な取り組み内容

### ○ 燃費効率の向上

東昭化学(株)

営業車の運転日報の管理を行い、日々の走行距離や使用状況を把握し、効率の良い営業活動を行う。

ハイブリッド車等低燃費車の継続使用。

(株)カズサ

軽トラック、フォークリフトの走行の効率化を図る。

### ○ 廃棄物量の低減 (ペーパーレスの推進)

発信するFAXはPC/FAXを積極的に使用する。

裏紙の積極的な利用。紙類の分別を徹底する。

受発注業務のペーパーレス化の推進。

省資源化のためにお取引先様にも協力を依頼する。

### ○ 水使用量の削減

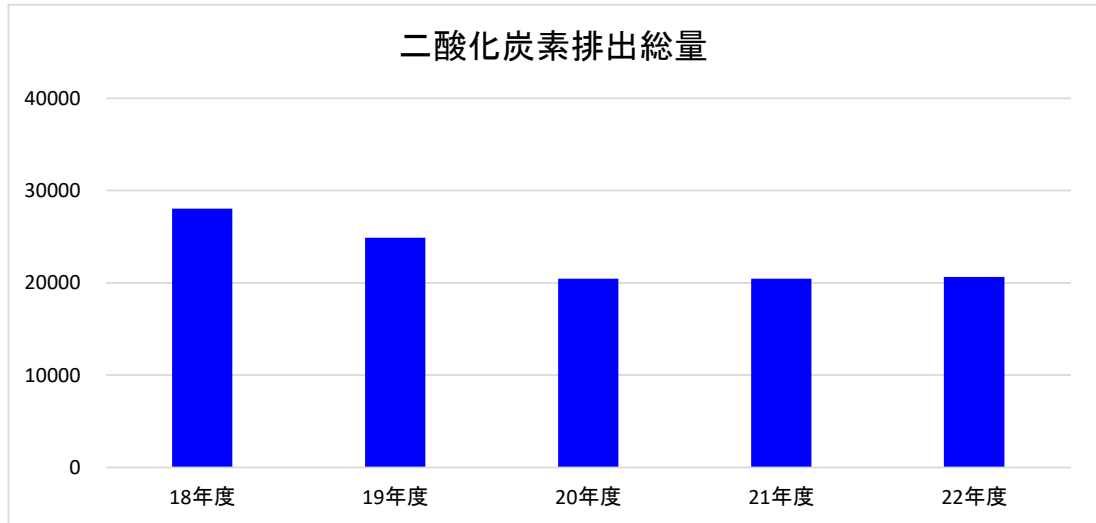
(株)カズサ

水使用量を常に把握して、効率的な使用により削減に努める。

### 3) 実績の推移

#### 【東昭化学】

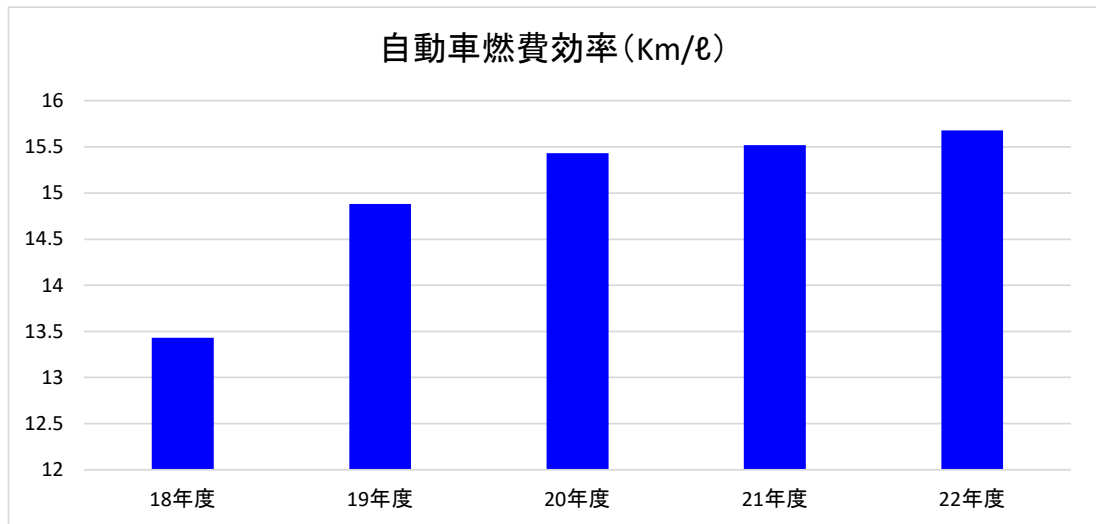
##### ■ 二酸化炭素排出総量の年間推移



二酸化炭素排出総量 (KgCO<sub>2</sub>)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
実績値	28,074	24,902	20,434	20,457	20,663
前年増減率	-	97.3%	82.1%	100.1%	101.0%
対前年評価	-	○	◎	△	△

##### ■ 自動車燃費効率の年間推移

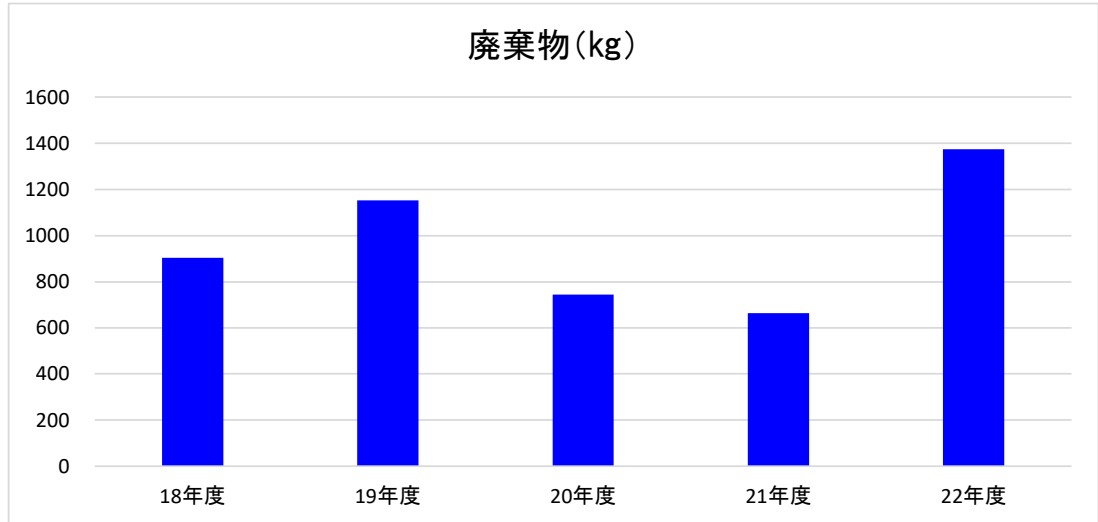


燃費効率 (km/ℓ)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
実績値	13.43	14.88	15.43	15.52	15.68
前年増減率	-	107.8%	103.7%	100.6%	101.0%
対前年評価	-	◎	◎	○	○



■ 廃棄物量の年間推移

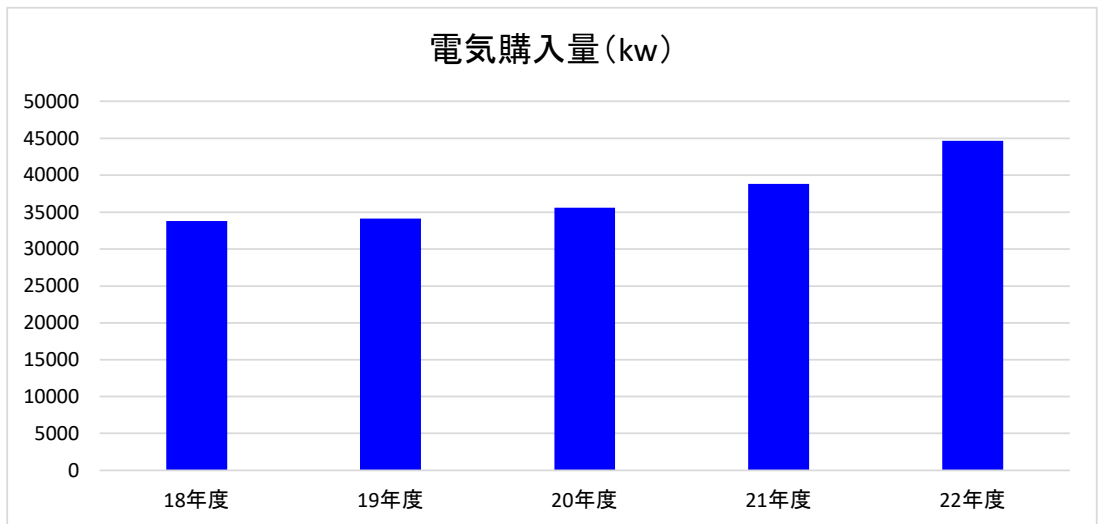


廃棄物 (kg)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
実績値	904.4	1,153.1	745.0	663.0	1,375.3
前年増減率	94.7%	127.5%	64.6%	89.0%	207.4%
対前年評価	◎	×	◎	◎	×

【カズサ】

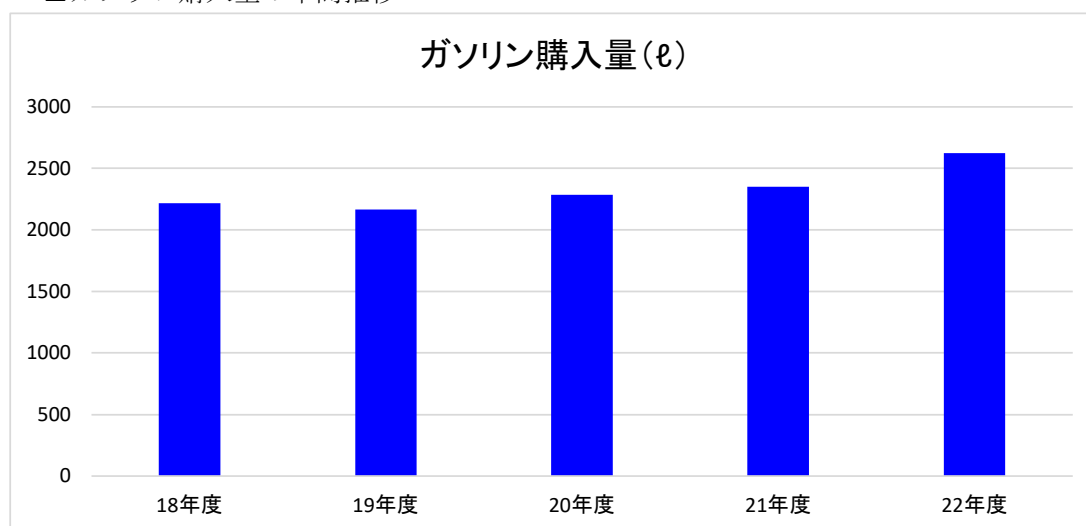
■ 電気購入量の年間推移



電気購入量 (kw)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
実績値	33,784	34,096	35,591	38,805	44,646
前年増減率	96.4%	100.9%	104.4%	109.0%	115.1%
対前年評価	○	△	×	×	×

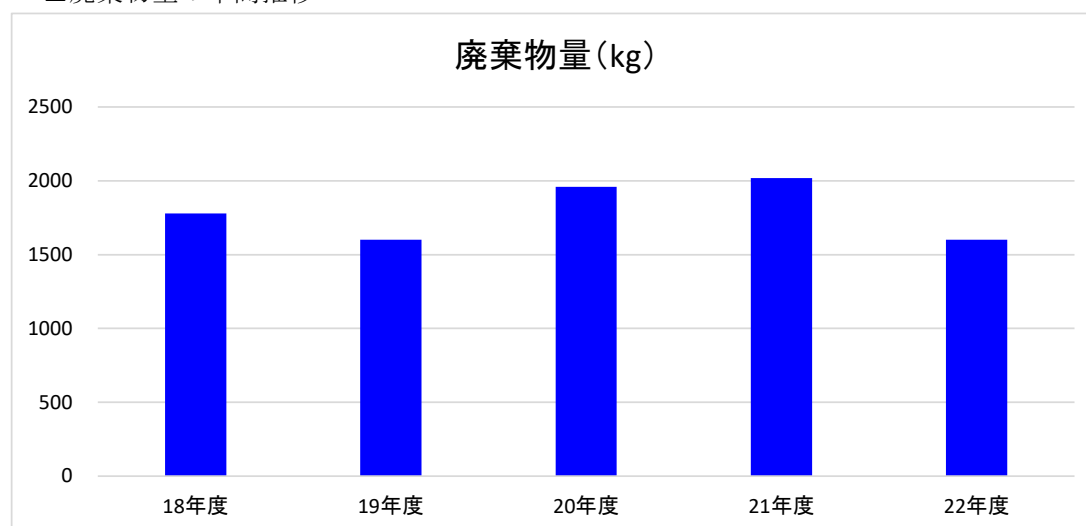
■ ガソリン購入量の年間推移



ガソリン購入量 (ℓ)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
実績値	2,216.1	2,166.2	2,285.4	2,353.7	2,626.0
前年増減率	-	94.7%	105.5%	103.0%	111.6%
対前年評価	-	◎	×	×	×

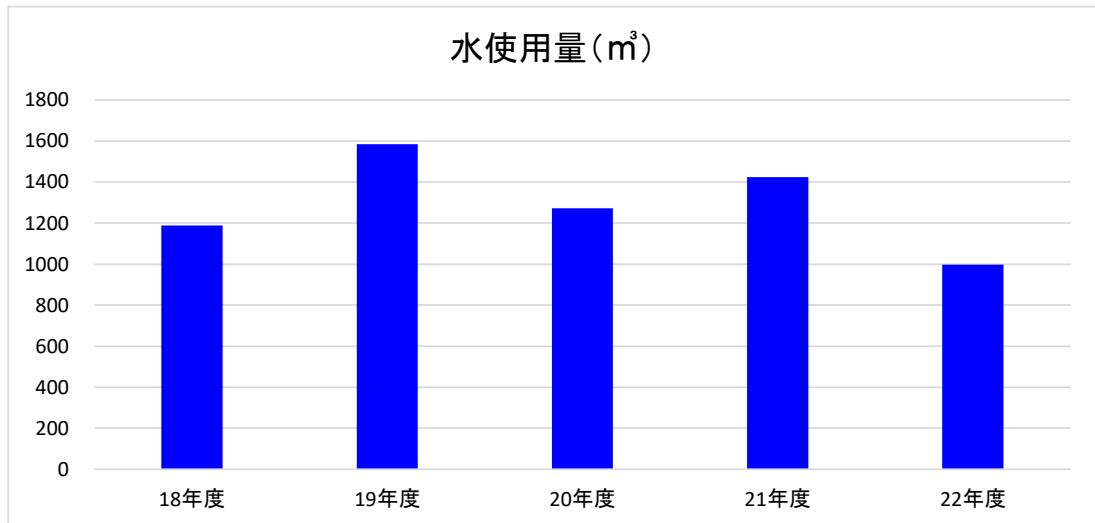
■ 廃棄物量の年間推移



廃棄物量 (kg)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
実績値	1,780	1,600	1,960	2,020	1,600
前年増減率	-	89.9%	122.5%	103.1%	79.2%
対前年評価	-	◎	×	△	◎

■ 水使用量の年間推移



水使用量 (m<sup>3</sup>)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
実績値	1,189.1	1,584.7	1,272.3	1,425.0	997.0
前年増減率	69.6%	133.3%	80.3%	112.0%	70.0%
対前年評価	◎	×	○	×	◎

## 4) 環境活動の取組結果とその評価

### 【東昭化学株式会社】

#### ①二酸化炭素排出量の低減

##### \*電力

従来、東昭化学株の入居ビルでは契約上、電気代は家賃に含む一定額となっていたため使用量の確認ができなかったが、2023年6月からメーター設置により把握することが可能となった。今年度は数値の記録をして節電活動を継続したが、次年度からは管理項目に追加する。

##### \*ガソリン

価格高騰により購入金額は増額したが、燃費効率は向上した。貨物車両の低燃費化が課題。

#### ②廃棄物排出量の低減

シュレッダーごみを溶解リサイクルへ転換したことで帳票類の排出時期のずれから合算で増加した。受発注業務のペーパーレス化も2年が経過して従来保管していた帳票類も減少している。給茶機の更新により容器包材ごみも減少した。

#### ③グリーン購入・リサイクルの推進

社内備品の購入に関しては、積極的にグリーン購入を行っている。リサイクルに関してはペットボトルキャップの回収と寄付を行っている。

#### ④環境関連法規の遵守

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

#### ⑤環境教育の推進

営業車を効率よく、安全に運行させるために出発前・後の点検や運行記録を取って燃費に対する意識を高めるよう教育している。また、社内業務においては紙資源への意識や電気の適正管理を積極的に行っている。

### 【株式会社カズサ】

#### ①購入電力の効率化

生産量も増加し電気使用量も増加傾向であり、ピークオーバーを避けるために引き続き機器類の電源管理をしていたが、猛暑によるエアコン負荷が原因で8月に管理値を上回ってしまった。機器類の管理を徹底し、生産計画と作業環境を整えて効率化を目指す。

#### ②燃費効率の向上（ガソリン使用量）

猛暑の影響もあり、主要製品の生産が増加したことで新規商品の生産開始によりフォークリフト軽自動車の稼働時間が増加した。引き続き作業の効率を考え省燃費の意識をもって運用する。

#### ③廃棄物排出量の低減

廃ラップ、PPバンドの資源化回収量が300Kg以上となり、低減に大きな効果があった。昨年は事務所棟のリフォームに伴う処分品の排出があり、目標達成には至らなかったが生産が増加する状況でも排出量を抑制することができた。

#### ④水使用量の削減

各所に流量計を設置して細部まで使用量を把握できるようになった。今期はコロナ対策用途の製品出荷が平常化したことにより希釈に使用する純水使用量が減少し大幅な削減になった。

#### ⑤リサイクルの推進

ワクチンキャップ運動の目的を周知し、キャップの回収を促進した。プラドラムの処理を裁断して減容化した。廃ラップ、PPバンドの資源化回収を継続し、大きな効果がでた。

#### ⑥環境関連法規の遵守

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

#### ⑦環境教育の推進

全社員にて環境活動を実施している。活動に関する担当をローテーションし、定例会議により各取組について全社員が理解して意識を共有することができた。

## 5) 取組結果を踏まえた2023年度取組み目標は

### 【東昭化学株式会社】

#### ①二酸化炭素排出量の低減

##### \*電力

事務所の電気使用量を管理項目に追加して、省電力化を推進する。  
空調の適正温度管理、PC電源管理の徹底を図る。

##### \*ガソリン

社内営業車を更新する際は引き続き低燃費車を検討し、公共交通機関とカーシェアを組合わせて営業効率とエネルギーの消費を抑制することを両立する。

#### ②廃棄物排出量の低減

業務システム全般の改善で効率化と更なるペーパーレス化（電子化）を推進する。  
ミспリントの防止、資料の電子化などで紙の使用量を抑制する。  
出力する帳票類の必要性を見直し、不要な帳票の出力を中止する。

#### ③グリーン購入・リサイクルの推進

積極的にグリーン購入を推進。  
紙類の分別を徹底して、リサイクルを推進。

#### ④環境関連法規の遵守

化学物質を適正管理し、環境関連法規を遵守していく。

#### ⑤環境教育の推進

全社員へ定期的にエコ活動における取組状況を通知する。  
また、エコ委員による指導を行い、意識向上を目指す。

### 【株式会社カズサ】

#### ①購入電力の効率化

新規商品の機材や、保管場所の温度管理による夏場の常時エアコン稼働で電力使用量の増加は避けられない為、効率的に電力使用する方法の一つとして全照明のLED化をいち早く進めていく。

#### ②燃費効率の向上（ガソリン使用量）

前年に引き続き、社用車及びフォークリフトの点検、整備をしっかりと行いさらなる燃費向上を目指していく。

#### ③廃棄物排出量の低減

新1ℓボトルへの変更があり、ボトルの段ボール回収がなくなってしまった為自社での処分となった。段ボール処分の増加量を記録していく。  
また、廃棄ラップやPPバンドのリサイクルも進めていく。

#### ④水使用量の削減

水使用量と純水使用量の正確な記録が取れるようになったので、23年度は純水製造時の水質記録を取り、樹脂交換を効率的に行い、水質管理に注力していく。

#### ⑤グリーン購入・リサイクルの推進

巻き芯回収のエコプロジェクト以外にも参加できる企画を探していく。  
再生紙が高価な為、使用していないが価格が下がれば使用していきたい。  
ワクチンキャップの回収も進めていく。

#### ⑥環境関連法規の遵守

化学物質の適正保管、漏洩防止管理の徹底。

#### ⑦環境教育の推進

前年以上に細かいデータを記録し、担当以外の情報を共有することで、取り組みへの理解を深め、推進の意識を向上していく。

## 6) 新5か年計画(2026年9月までの環境経営目標)

### 【東昭化学株】

#### T-1 二酸化炭素排出総量の低減

2020年度の実績値(20,434kgCO<sub>2</sub>)を基準値とし  
2026年9月までに二酸化炭素排出総量を2.5%低減する。  
2026年9月までの目標値 19,923 kgCO<sub>2</sub>

#### T-2 燃費効率

2020年度の実績値(15.43Km/l)を基準値とし  
2026年9月までに営業車の燃費効率を2.5%向上させる。  
2026年9月までの目標値 15.83Km/l

#### T-3 廃棄物量の低減

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(979.1Kg)を基準値とし  
2026年9月までに廃棄物量を5%低減する。  
2026年9月までの目標値 930.1kg

### 【株カズサ】

#### K-1 購入電力の効率化

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(33,847kw)を基準値とし  
2026年9月までに購入電力を2.5%低減する。  
2026年9月までの目標値 33,001kw

#### K-2 燃費効率の向上(ガソリン使用量)

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(2,280l)を基準値とし  
2026年9月までにガソリン使用量を2.5%低減する。  
2026年9月までの目標値 2,223l

#### K-3 廃棄物量の低減

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(1,816t)を基準値とし  
2026年9月までに廃棄物量を2.5%低減する。  
2026年9月までの目標値 1,771t

#### K-4 水使用量の削減

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(1,272m<sup>3</sup>)を基準値とし  
2026年9月までに水使用量を2.5%低減する。  
2026年9月までの目標値 1,241m<sup>3</sup>

## 7) 代表者による全体評価と見直し

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大が抑えられてきた中で営業活動も活発となり、今期は夏の猛暑で消毒剤関連の製造販売が好調となりました。しかしながら製造現場では猛暑での対応でエアコンもフル稼働となり電力使用量も増加し、料金の値上げもあり大きな負担となりました。

取扱い製品や製品資材関連の値上げも続く状況と製造メーカーのプラントトラブルなどでお取引様への対応に苦慮する1年となりました。

引き続き社員や同居家族の新型コロナウイルス、インフルエンザなどの感染もあり、感染症対策を継続してリモートワークを組合せて対応しています。

感染症、異常気象、自然災害など突発的な環境の変化にも対応すべく準備と対策を構築し効率化と環境への配慮をもって事業活動を推進します。



東昭化学(株)では営業活動も活発になり営業車の稼働も増加しましたが、営業車両の効率的な運用とアイドリングストップなど常に燃費を意識した運転により燃費効率を向上することができました。

また、業務システムの更新プロジェクトにおいてカズサとの受発注業務を改善し、双方の業務を効率化するとともにFAXの使用や紙の出力を低減することができました。進行中のシステム改革を推進し、各部署の業務効率化と環境配慮を両立して様々な変化に強く対応できる体制を構築してください。

次年度より事務所での電気使用量を管理項目としますが、従来より意識して行っている省電力の行動を継続するとともに管理体制を構築し無駄な電力消費を削減してください。



(株)カズサでは猛暑の影響により空調機の稼働期間が延び電力使用量の増加が続きました。照明のLED化を推進していくことと機器類の効率的な使用を継続して使用量の増加を抑制してください。

廃ラップ、PPバンドのリサイクル回収が前年の実績より大幅に増加し廃棄物の低減に大きく寄与しています。また、工場内の雑草をコンポスト処理でたい肥化して、場内の緑化に役立てています。

水使用量は純水希釈製品の製造が平常化して全体使用量が減少しました。流量計設置によるデータを活用して節水を心掛けてください。

電力の負担が増加する中で使用量の増加を抑制すべく最重要課題として対策を検討してください。

### 【ワクチンキャップ運動への参加】

東昭化学(株)・(株)カズサは共同で、ワクチンキャップ運動を推進しております。社会貢献活動の一つとしてボトルのキャップを回収し、二酸化炭素の軽減と世界の子供たちのためのワクチン購入費を寄付する活動を支援しております。



〈ペットボトルキャップ回収結果〉

回収期間 (2022年10月1日～2023年9月30日)

2022/12/14	14.8 Kg	6,364 個
2323/7/4	6.3 Kg	2,718 個
合計	21.1 Kg	9,082 個